イベント会場等における火気取扱い時の留意事項

１　危険物等の貯蔵・取扱いについて

（１）ガソリンの特性

ア　ガソリンの引火点は－４０度と低く、極めて引火しやすい。

イ　揮発しやすく、可燃性蒸気は空気より約３～４倍重いので床面に沿って滞留しやすく広範囲に拡大します。

（２）金属製容器等

ア　使用・保管場所は、火気や高温部から離れた日陰の通気性の良い床面にしましょう。

イ　金属製容器は、消防法令に適合（規格品）したものを使用しましょう。

ウ　開口前のガス抜きの操作等、取扱説明書等に書かれた容器の操作方法に従い、漏れ・あふれ等がないよう細心の注意を払いましょう。

エ　エンジン稼働中の燃料補給は、絶対にやめましょう。

オ　燃料補給の際は、漏れ・あふれ等がないよう細心の注意を払いましょう。

カ　夏季においては、ガソリンの温度が上がり蒸気圧が高くなる可能性があることから、飛散しないよう細心の注意を払いましょう。

火災予防に御協力ください

（裏面に続く）

2　火気器具の取扱いについて

（1）調理器具等

ア　建築物及び可燃物から火災予防上安全な距離を保ちましょう。

イ　可燃性のガス又は蒸気が滞留するおそれのない場所で使用しましょう。

ウ　不燃性の床上又は台上で使用しましょう。

エ　周囲は、常に整理及び清掃に努めるとともに、燃料その他の可燃物をみだりに置かないようにしましょう。

オ　ゴム製ホースはプロパンガス専用を使用しましょう。

カ　ゴム製ホースは適正な長さで取り付けましょう。

キ　ゴム製ホースの接続部はホースバンド等で確実に締め付けましょう。

ク　ゴム製ホースが劣化しているときは交換しましょう。

ケ　地震動等により容易に可燃物が落下するおそれのない場所で使用しましょう

コ　地震動等により容易に転倒又は落下するおそれのないような状態で使用しましょう。

サ　燃料漏れがないことを確認してから点火しましょう。

シ　本来の使用目的以外に使用する等不適当な使用はやめましょう。

ス　火気器具の使用中は、その場から離れないようにしましょう。

セ　消火器等の必要な消火準備をしましょう。

（2）プロパンガス等

ア　火気まで安全な距離を保ちましょう。

イ　水平な場所に置き、転倒しないようチェーン・ロープ等で固定しましょう。

ウ　直射日光の当たらない通気性の良い場所に置きましょう。